

事務事業名	南湖第二保育所維持管理事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5171				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	南湖第二保育所	課長名	秋山朝子				
			所属担当		担当者名	秋山朝子				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	計画	17 社会福祉の充実	事業区分	01	一般	03	02	04	180	05
施策	体系	28 児童福祉の充実		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 ( 年度)			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業						
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
法令根拠										
事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料・通信運搬費・手数料・施設維持管理委託料・原材料費(砂場砂)等の直接児童に関わらない管理経費	事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)		項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
			消耗品費	27	手数料	59				
		燃料費	224	施設維持管理委託料	106					
		光熱水費	1,092	使用料及び賃借料	278					
		修繕料	65	原材料費	40					
		通信運搬費	78	計	1,969					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績	26年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
	予算の執行 委託契約事務・施設の修繕箇所・26年度統合建設検討委員会	予算の執行 統合して南湖保育所として充実した事業を行っていく。		名称 単位
				ア 予算額 円
				イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	施設の維持管理 平成26年度4月南湖第一・南湖第二保育所 統合予定		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
				名称 単位
				ア 執行状況 %
				イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	保育事業が円滑に行えるように施設、設備、備品等安全で快適な環境を維持する。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
				名称 単位
				ア 決算状況 円
				イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	児童福祉施設の充実により安心して子育てが出来る環境づくり。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
				名称 単位
				ア 保育所に満足している保護者数 人
				イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	2,046	1,764	1,969	0	0	0	0
		事業費計(A)	千円	2,046	1,764	1,969	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1				
		延べ業務時間	時間	1,152	1,152	1,152				
		人件費計(B)	千円	5,243	5,243	5,243	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	7,289	7,007	7,212	0	0	0	0
		活動指標	円							
		対象指標	%							
		成果指標	円							
		上位成果指標	人							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	南湖第二保育所は昭和27年に認可され、昭和53年に70名定員施設として創設されました。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	ここ数年は少子化の影響で一地域に一施設のため入所児童が減少している。そのため、平成26年度4月に南湖第一保育所と統合して新たに公設運営保育所としてスタートすることになった。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	一地域一保育所で、地域の夏祭りや小学校との交流も盛んでよい関係が保たれていたが、園舎の老朽化と少子化で南湖第一保育所と統合し、平成26年4月に公設運営の保育所としてスタート市、通所道路の安全確保が要

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	自然な風や太陽を感じるように努め、冷暖房は必要ときに使用するようし、児童の基礎体力が付くような取り組みを保育所全体で行っている。保護者へのお知らせは、すぐに対応するため、各部屋の前に大きく貼り出したリ、掲示板に貼ったり、メール配信して保護者に分かるように連携を図っている。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	統合に向け、児童の交流と、保護者への説明会を実施して、26年度の統合保育所がスムーズに活動できるように、努力した。

事務事業名	南湖第二保育所維持管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	南湖第二保育所
-------	---------------	-----	-------	-----	---------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 児童福祉法に基づく政策施策である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 保育所は、入所児童がここ数年減少している現状であるので、南湖第一保育所と統合し、公設運営保育所として平成26年4月スタートすることが決定し、保護者のニーズに応じていく。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 園舎の老朽化及び児童数が減少して単クラスでの保育が成り立たなくなってきたので、平成26年度は南湖第一保育所と統合して、保護者のニーズに応じて、施設を充実し、安心安全保育を基本とした保育をしていく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 園舎の老朽化及び児童数が減少して単クラスでの保育が成り立たなくなってきたので、平成26年度は南湖第一保育所と統合して、保護者のニーズに応じて、施設を充実し、安心安全保育を基本とした保育をしていく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 統合することでコスト削減となり、児童により環境で安全で安定した生活の保育が提供できる。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 平成26年度統合が決定しているため、平成25年度の1年間施設運営は平成26年度統合が決定しているため、現建物は借地なので地権者に返還し、4月から統合の新たな保育所となるので影響はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 修繕費などがかさむので、統合することでコスト削減できる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 伝票作成等の人件費であるため、これ以上の削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 施設運営であるための維持管理事業費なので受益機会・受益者負担の適正化を見直す必要はない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設老朽化により、さまざまな経費がかかっていたため、統合することによって、保護者のニーズに応じた施設となり、より良い環境で、安心安全の児童の保育が出来る。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					